

マレーシア国 道路防災管理計画調査 事前調査報告書

平成 12 年 8 月

国際協力事業団

序 文

日本国政府は、マレーシア国政府の要請に基づき、道路防災管理計画に係る調査を実施することを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施することといたしました。

当事業団は、本格調査に先立ち、本件調査を円滑かつ効果的に進めるため、平成 12 年 7 月 6 日より 7 月 15 日までの 10 日間にわたり、建設省九州地方建設局道路局道路調査官中村稔氏を団長とする事前調査団(S / W 協議)を現地に派遣しました。

調査団は本件の背景を確認するとともにマレーシア国政府の意向を聴取し、かつ現地踏査の結果を踏まえ、本格調査に関する S / W に署名しました。

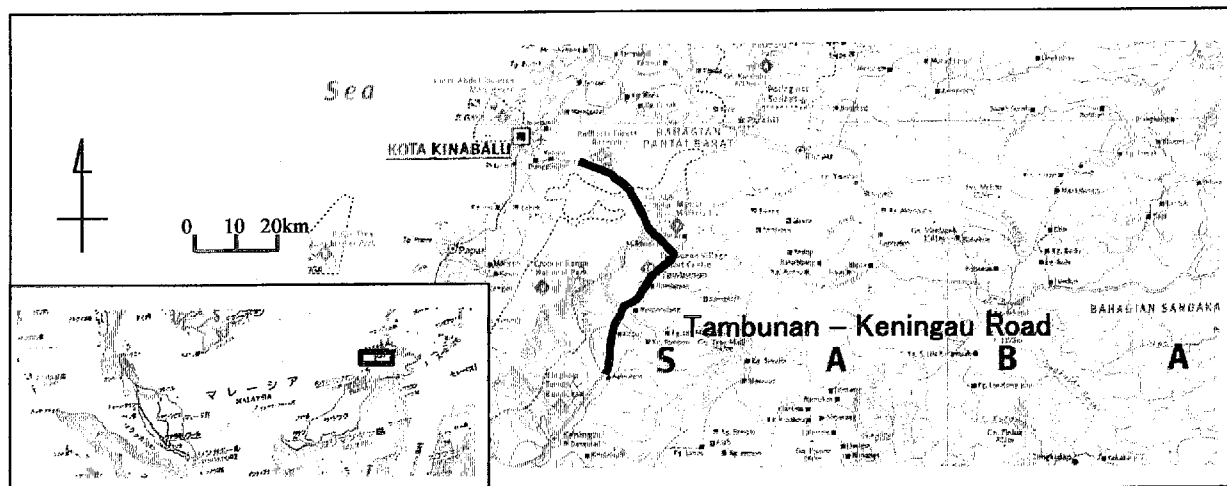
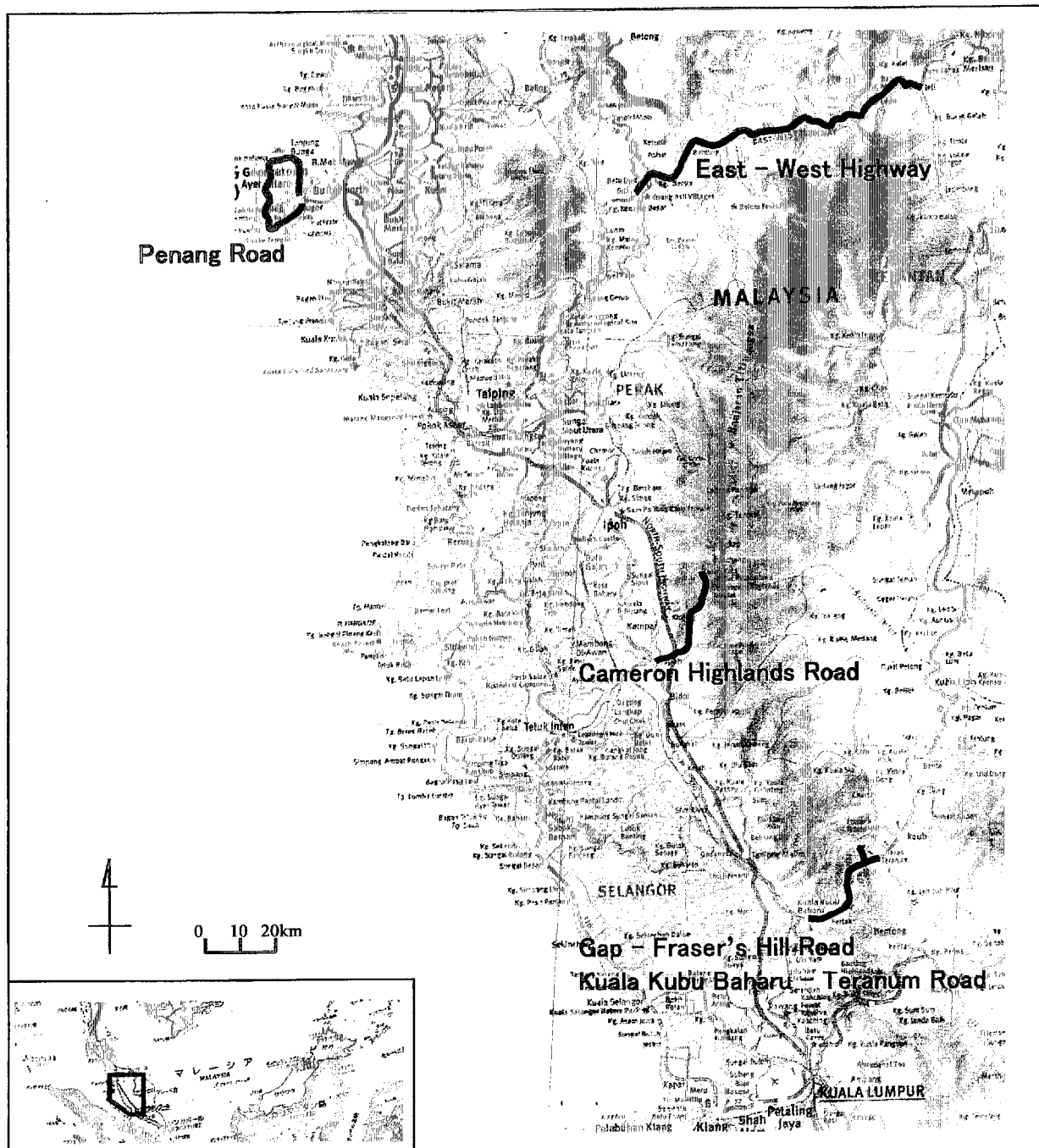
本報告書は、今回の調査を取りまとめるとともに、引き続き実施を予定している本格調査に資するためのものです。

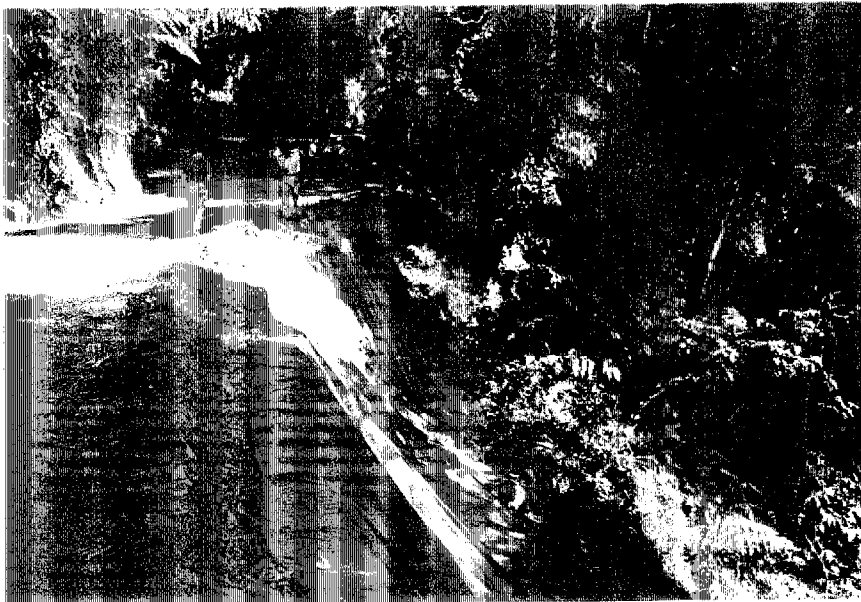
終わりに、調査にご協力とご支援を頂いた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成 12 年 8 月

国際協力事業団

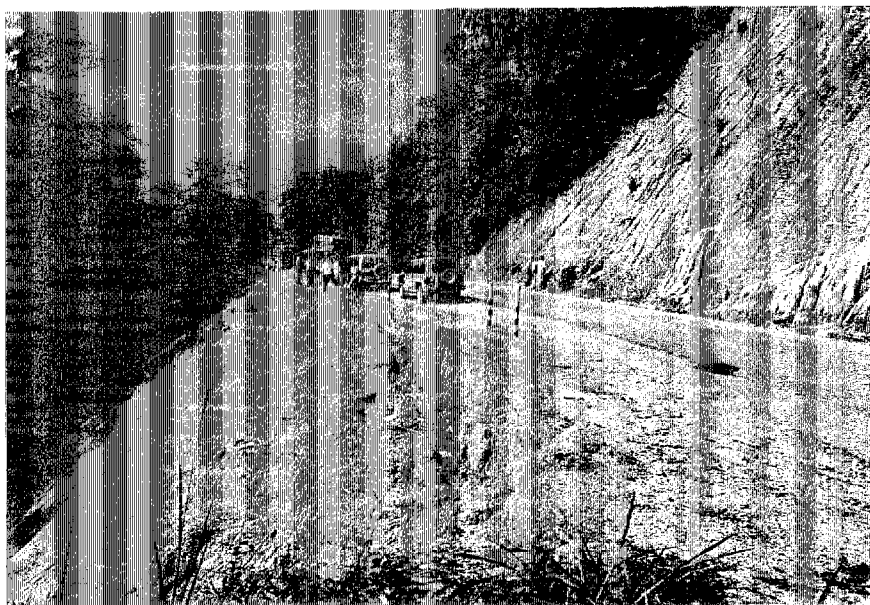
理事 泉 堅 二 郎





Cameron Highlands Road

丘陵・山岳地帯に点在する災害発生現場。小規模な崩壊斜面は一時的な処理としてブルーシートで覆われている。



Cameron Highlands Road

大規模な斜面崩壊現場。土砂は取り除かれているが、谷河の路肩には亀裂が見られ、再度、斜面崩壊する可能性が大きい。



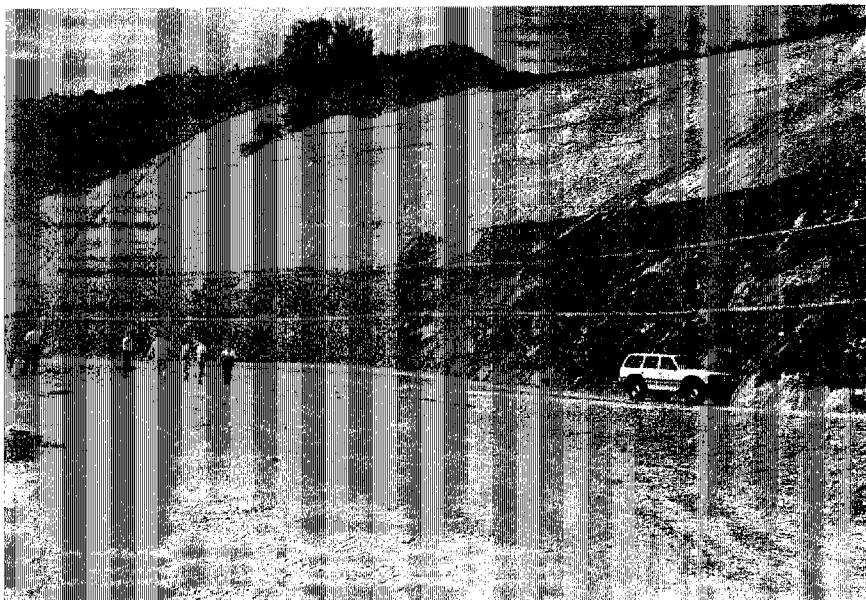
Gap – Fraser's Hill Road (新道)

災害発生現場。懸命の復旧工事が行われている。



Gap – Fraser's Hill Road (新道)

災害発生現場。本年中の全線開通に向けて工事が進められている。



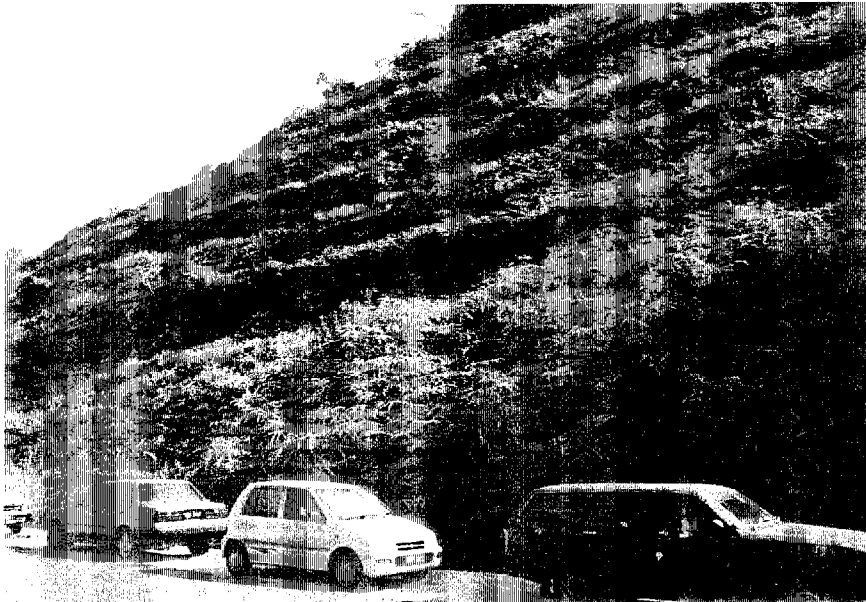
Tambunan – Keningau Road

山岳地帯に見られる大規模な道路法面。斜面崩壊が発生したため、新たに法面を切り、復旧工事を行っている。



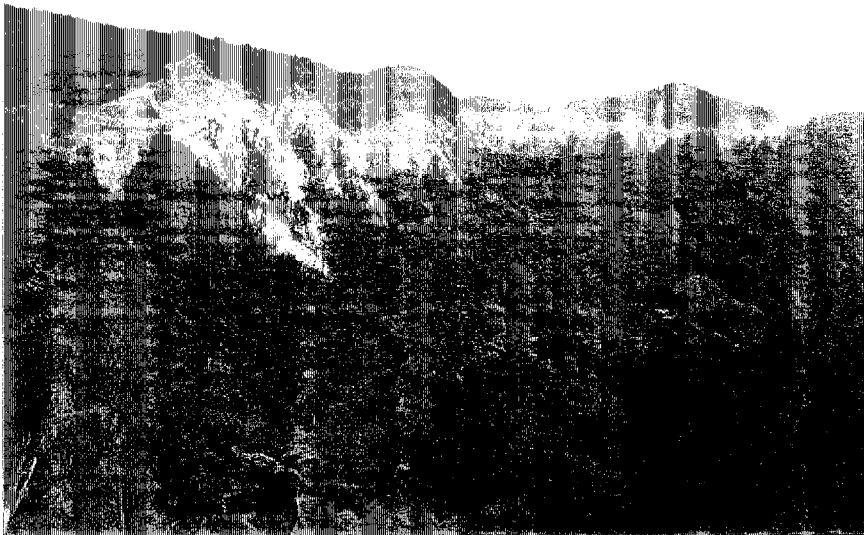
Tambunan – Keningau Road

Tambunan近郊の丘陵地帯の道路では雨裂による法面崩壊が見られる。



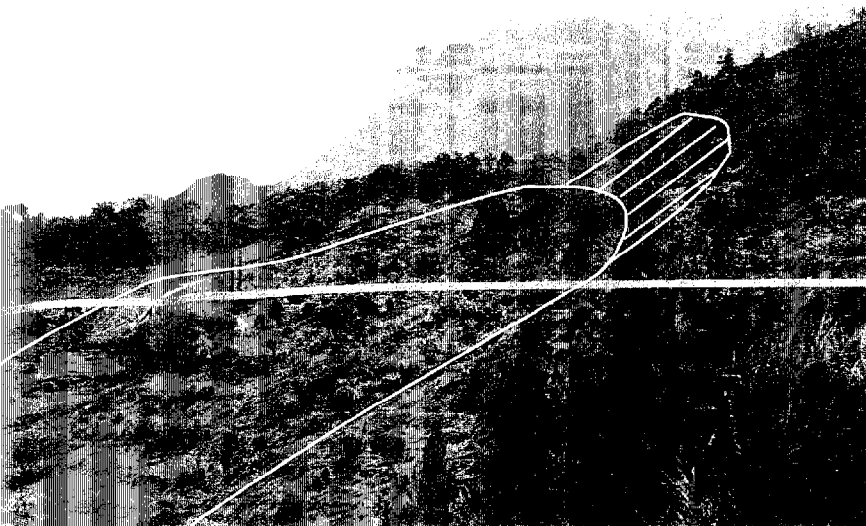
East – West Highway 2
(対象外)

安定した法面では月日を経つにつれ、一般的にシダ類が自然発生し、良好な景観を作り出している。



East – West Highway 2
(対象外)

新規道路の建設現場。土砂災害が多発し、工事が大幅に遅れている。植生の破壊や濁水の発生などの環境問題も発生している。



Tamparuli – Sandakan Road
(対象外)

峠付近では地すべり地帯を通過している。谷側の斜面が崩れたため復旧工事中が行われている。

目 次

序 文

地 図

写 真

第 1 章 事前調査の概要	1
1 - 1 要請の背景	1
1 - 2 事前調査の目的	1
1 - 3 調査団の構成	1
1 - 4 調査日程	2
1 - 5 協議概要	3

第 2 章 本格調査への提言	7
2 - 1 マレーシアの概要	7
2 - 2 道路防災分野の現状と課題	18
2 - 3 調査の基本方針	29
2 - 4 調査対象範囲	30
2 - 5 調査項目とその内容・範囲	31
2 - 6 調査フローと要員構成	40
2 - 7 調査実施上の留意点	42
2 - 8 各種データの入手可能性	43

付属資料

1 . 実施細則、協議議事録、要請書(Terms of Reference)	55
2 . 主要面談者リスト	104
3 . 質問書	106
4 . 収集資料リスト	117
5 . ローカルコンサルタントリスト	119